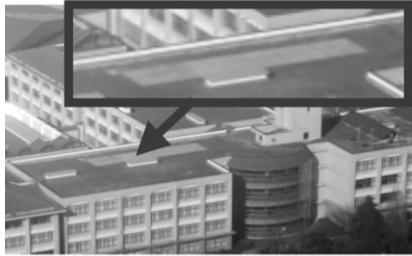


災害時のヘリコプター活動の迅速化を 図るためヘリサインの設置を 原田 剛 議員

質問 被災時の救援物資の輸送にはヘリコプター活動は欠かせないもので、活動の迅速化を図るため公共建築物の屋上に施設名の表示、ヘリサインを設置することが有効と言われているが、現状は。

市長 東京消防庁が推進するヘリサインは現在、福生高校と多摩工業高校の2カ所に表示されているが、市域の状況から中学校区単位での設置が望ましいので、市の北側の第二中学校区あたりを考えている。この地域には災害医療の

拠点となる公立福生病院が所在することから、今後病院側とも調整を図っていききたい。



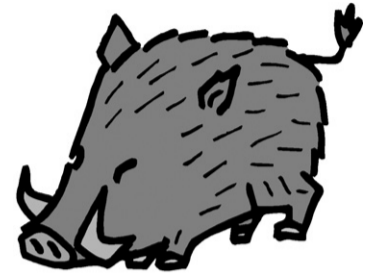
▲多摩工業高校のヘリサイン

自然破壊に伴い心配される福生市の 生態系の変化は 申田 金八 議員

質問 人間により聖域を奪われ山へ追いやられたキツネ、タヌキなどがえさを求め、また縄張り確保のため市内に生息しているようだが、ペットブームにより多くの外来種が入ってきており、生態系を壊す外来種の被害や目撃情報があれば伺いたい。

市長 10月にイノシシがいるとの情報があり、警察と市役所で巡回を行ったが発見できず、被害はなかったとのことである。また、ここ数年タヌキ、サル、ハクビシ

ン、アライグマ、ワニガメなどの情報が寄せられ、ハクビシンが屋根裏に巣をつくったという被害の報告があった。



市民の健康づくり 来年度の具体的施策は何か 青海 俊伯 議員

質問 視察に行った上田市では、市長みずから健康づくりの歌をCDに吹き込んでおり、身体活動運動を日ごろ意識的に行っているとか、食事の内容量の適切さを認識したなど数字上で改善が見られている。市は来年度どのような具体的施策で、市民の健康増進に行政として寄与するのか伺いたい。

市長 健康づくり推進員と協働で全市民参加型健康づくりを推進するため、推進員を現在の34名から約100名に増員し、地域におけ

る健康づくり活動の企画・運営、市主催の健康教育等事業への参加も含め活動の輪を広げ、活発に展開していききたい。



▲長野県上田市の「レッツ体操」

拡大する新型インフルエンザ 小中学校における現在の状況と対応は 田村 正秋 議員

質問 時期、時間が過ぎるごとに感染拡大が伝えられ、現在の小中学校での感染率は45%とのことだが、その後の学級、学校閉鎖の状況は。

教育長 8月から11月までの累計でA型陽性判定者とインフルエンザ様症状発症者を含めて小学校1411名、中学校が564名、累計で1975名、感染率は45.4%で、教職員は25名で10%である。学級、学校閉鎖率は小中学校ともに53.7%であり、統計では欠席数が休日明

けに増加することから、不用な外出を避けるなど休日の過ごし方についての注意喚起を各学校に指示している。



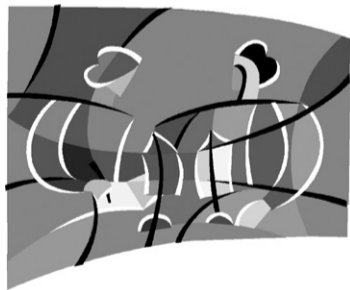
▲インフルエンザ検診風景(保健センターにて)

ニートを生み出さない対策を 阿南 育子 議員

質問 10代の子どもが高校へ行かず、また中退して就職もしない状況を放っておいていいとは思えず、またニート状態を長期化させないという意味で若者への支援が必要と思うが、どのような相談窓口があり、支援の手立てがあるかお聞きしたい。

市長 市では、高等学校中途退学や就職していない人の把握が難しく、児童館などで相談を受け、東京都等の専門窓口を案内している。また、国においてはニートや

ひきこもりなど若者の抱える問題などを総合的に推進するための法整備も進んでおり、今後も情報の収集に努めたい。



全国的に導入が予想される小中一貫教育 導入の問題点は 末次 和夫 議員

質問 今後多くの自治体で導入され、全国的な流れとなる可能性があると思うが、メリット、デメリット、施設一体型、隣接型、分離型などを含めた小中一貫教育について、一般論で構わないので所見を伺いたい。

教育長 本市でも重要な課題としてとらえており、校長会では先進市視察や協議会を設置して研究を進めている。しかし、進学という節目がなくなり、人間関係が固定化するなどの課題が上げられて

おり、市独自の課題がどんなものか現時点では回答しかねるが、今後も先進市の動向を見守り、慎重に対応していききたい。



討論 陳情第21-6号 介護保険に関する陳情書

賛成 社会保障が改悪され、介護保険も国の給付抑制で「保険あって介護なし」の事態が広がり、介護事業者の倒産も相次いだ。しわ寄せは医療・福祉の現場に、また国民には命と暮らしの不安を増大させた結果、長年、衆議院第一党であった自民党がその座から転落する一因ともなったが、新政権でもこのままでよいはずはない。「要支援者に利用限度額の上乗せ実施を、市も生計困難者に対する都の事業に助成を」等の陳情は、現行制度を生かし利用するには必要不可欠であり、賛成する。

陳情 今定例会の各委員会で審査した結果、採択・不採択となった陳情書は次のとおりです。

採 択

- 東京都住宅供給公社の家賃値上げ反対に関する陳情書
- 都市再生機構賃貸住宅への定期借家契約導入反対の意見書採択に関する陳情書

不採 択

- 介護保険に関する陳情書
- <理由>陳情項目にある費用負担を見た場合、市の社会保障、社会保険に影響があると考えられ、意に沿いがたい。